

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和5年度第5回公民館運営審議会
日 時 令和6年3月19日(火) 午前9時30分～11時30分
場 所 国分寺公民館 大ホール
委 員 出席者 中川 賢一、板垣 博史、田熊 利光、高橋 佳枝、
羽石 孝子、石崎 勝二、石田 節男、高橋 裕美、
津野田 久江、北村 優子、篠原 文子、小林 直子、
上野 文夫、鈴木 祐孝、
欠席者 加瀬裕美

教育委員会	教育長	石崎 雅也
	生涯学習文化課長	根本 宣明
	国分寺公民館長	神山 裕
	石橋公民館長	齋藤 英子
	南河内公民館長	齋藤 光利
	南河内東公民館長	大島 浩司
	生涯学習文化課グループリーダー	橋本 幸昌

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和5年3月25日

- 1 開 会 南河内東公民館長 大島 浩司
- 2 委員長あいさつ 中川 賢一
- 3 教育長あいさつ 石崎 雅也
- 4 議 事
(1) 令和5年度公民館事業実績報告について
(2) 公民館評価について
(3) その他

(1) 令和5年度公民館事業実績報告について

中川委員長 事務局	<p>審議事項 議事(1)「令和5年度公民館事業実績報告」について、事務局からの説明を求める。</p> <p>国分寺、石橋、南河内、南河内東公民館の順に「公民館点検・評価シート及び事業実績報告」を実施。</p> <p>特出すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺公民館 6講座から自主サークルが立ち上がった。 ・石橋公民館 「ママナビ」では、幼稚園等に対しメール配信での広報活動を実施し、多くの反響があった。エントランスホールに設置してあるフリーピアノを使用し、来館の機会とフリーピアノのPRとして「フリーピアノミニコンサート」を実施した。 ・南河内公民館 「ゆうがお大学」では、有償ボランティアを講師に招くコマから、ボランティア団体へ参加した受講者がいた。多文化共生では、職員のスキル向上が必要であることが感じられた。 ・南河内東公民館 1講座から自主サークル(子供フラダンス)が立ち上がった。また、パン講座から既存サークルへ加入した。FMゆうがおへ受講者が出演したことは、公民館講座のPRとなった。なお、12月から改修工事を実施しており、開館は4月9日(火)となる。 <p>続いて、事前質問について回答する。</p>
中川委員長 高橋(佳)委員 事務局	<p>事務局の説明は以上であるが、ご意見、ご質問はあるか。</p> <p>再度、お願いしたいが公民館まつりのプログラムの配布をしてほしい。また、社会教育委員等にも配布をお願いしたい。</p>
高橋(佳)委員 事務局	<p>各館の準備の都合上、配布をしなかったが、今後は希望に沿いたい。</p> <p>石橋公民館の学習室、ミーティング学習スペースがなぜ20時30分に退館なのか。貸出施設は21時であり、その差は何か。</p>
中川委員長	<p>利用する生徒・学生の安全上の観点と夜間はシルバー人材センターの方が1人で管理している施設管理上の関係を考えて20時30分までの利用とした。</p> <p>石橋公民館は開館して1年であり、他館と比較はできないが、管理状況や使用状況を再確認し、できる限り利用者に理解いただける対応をしていきたい。</p> <p>やはり、公民館は利用者が利用しやすい対応をしていただきたい。</p> <p>以上で(1)の議案を終了する。</p>

(2) 公民館評価について

中川委員長 事務局	<p>(2)「公民館評価」について、事務局より説明を求める。</p> <p>評価シート(提出用)に記入をしたのち、4月26日(金)までに提出をお願いしたい。</p>
中川委員長	<p>以上で(2)の議案を終了する。</p>

(3) その他

中川委員長 事務局	<p>(3)「その他」について、事務局より説明を求める。</p> <p>議事内のその他はない。</p>
中川委員長	<p>質問がなければ本日の会議は以上で終了する。</p>

5 その他

事務局	●小山地区定住自立圏について 4月1日から下野市公民館を利用する小山市民、野木町民は、市民同様の利用料となる。また、下野市民は小山市、野木町の施設を利用料も同市民、町民と同じとなる。
全委員 事務局	歳入が少なくなるのではないか。 現状では多くの利用者はなく、大幅な変更はないものと考えている。また、利用者増にもつながる可能性があり、歳入増になる可能性も考えている。
事務局	●令和6年度第3日曜日について 公運審からの要望により、財政当局と調整を図ったが、管理費の増額は認められず、令和6年度の開館はできなかった。
全委員	公運審から強い要望をし、開館できるような回答をいただいたような記憶がある。また、先ほどの小山地区定住自立圏を考えると他市町は第3日曜日は開館となっていることを考えても開館すべきではなかったのではないか。
事務局	令和7年度実施に向け、調整を図っていきたい。

6 閉 会